

外国人参政権に反対しましょう

twitter <http://twitter.com/sanseikenwiki>

(このサイトの文章と同様に転載・抜粋など、ご自由にお使い下さい。)

[人権侵害救済法案](#) に加筆しました。(2012年3月7日・記)

生駒市 市民投票条例に反対しましょう。

「明日の生駒を考える会」 <http://bit.ly/Aw0VaD>
署名用紙のDL <http://bit.ly/yhUGTu>

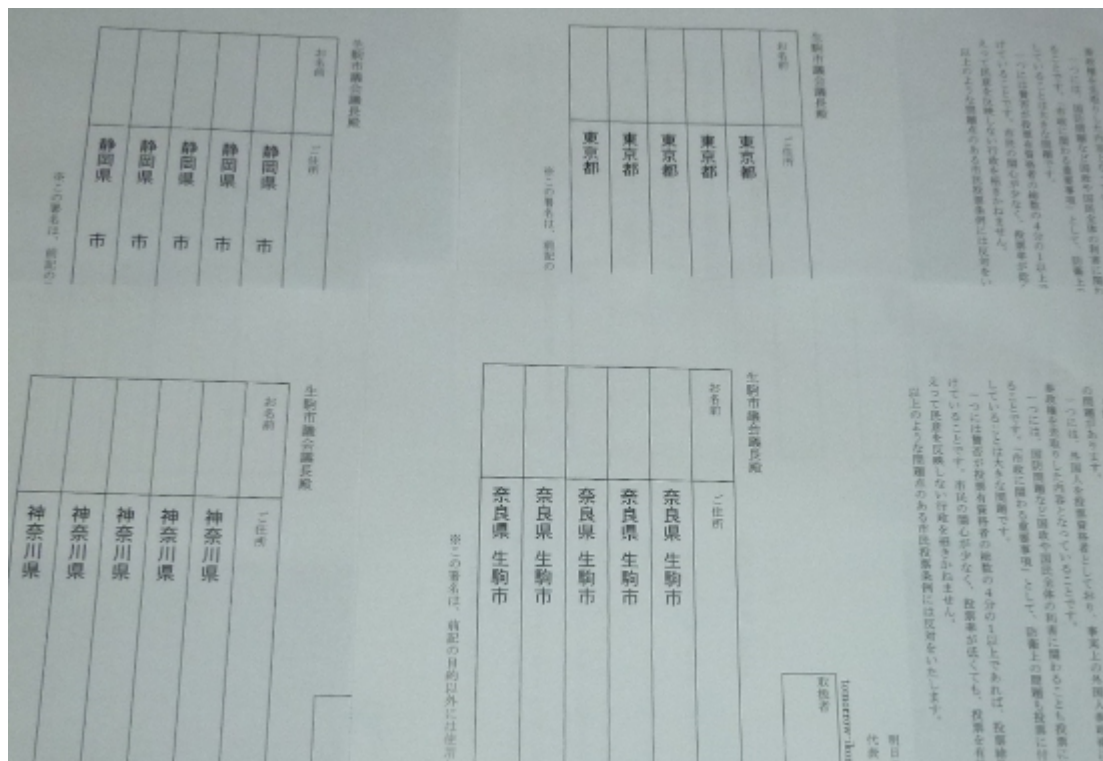
反対署名は全国から受け付けています。

署名用紙には都道府県名、市区町村名等が入っていると
署名者の負担軽減になり、家族等の署名もお願いしやすくなります。

地名等を加える時は元のデータに追加する、
別刷りして貼り込んでからコピーする、重ね刷りするなどの方法があります。

下記のワードは重ね刷り用に準備しました。
文書保護をかけていないので地名を変更してお使い下さい。
位置合わせはしてありますが、環境によっては、ずれるかもしれません。

 [生駒市署名用紙補助ワード.doc](#)



署名収集の基本は戸別訪問をしながらその場で書いてもらうことですが、
署名収集をしてくれる人を増やす事も大切です。
署名用紙と併せて、郵送セットを預けておく場合もあります。
署名用紙の地名入りや地名無しはその方が使いやすいものを預けます。



TOPの記事が増えたので[TOP・ARCHIVE](#)に移動しました。

twitter

政治も選挙も常に人と人の関わりの中で行われています。
そして、そこには多くの要因が複雑に絡み合っています。

現在では様々な問題点を周知拡散させていくのにインターネットの影響力は大きなものがあります。

しかし、例えばツイッターで「#seiji」「#外国人参政権」などのタグだけでは
関心を持っている人たちだけへの周知拡散にしかなりません。
無党派層・無関心層に如何にして周知拡散させていくか。
民意に浸透させ、それを目に見える形にするにはどうすればいいのか。

サイトやブログとツイッターの連携は大切です。

ブログが街頭演説なら、流れの速いツイッターは遊説でしょうか。
大事な情報を短い文章にまとめ、繰り返し拡散していく。

マスコミの偏向報道に立ち向かっていくのは簡単な事ではありませんが、
私たちが日常生活の中で行う活動の積み重ねを如何にして大きくしていくか。
まだまだ道半ばであり、インターネットの有効活用は試行錯誤の連続です。
様々な可能性にトライしていきましょう。

人参

馬の前にぶら下げた人参はぶら下げ続けなければならない。
食べさせてしまえば、そこで走るのをやめてしまう。

外国人参政権付与法案も同様。
ぶら下げ続ける事によって得られるものは利権と献金。

インターネットでは、民主党政権になったら
外国人参政権付与法案はすぐに可決してしまうと言っていた人が多かった。
では、何故、そうならなかったのか。

人参をぶら下げ続けなければならなかったから。
法案を提出しても可決させる事が出来ないと判っていたから。

議員立法で提出しても否決されてしまう。
その為に閣法での提出を主張し続ける。
そして閣法で提出できない理由を国民新党のせいにする。

では何故、議員立法では法案を通せないのか、
議員立法で提出したとする。

衆院では民主党保守系が造反しても、公明党・社民党などが賛成し過半数を取る。

参院では民主党保守系が造反し、公明党・社民党などが賛成しても過半数を取れない。
参院で民主党保守系が何人くらい造反するのか。
ギリギリではあったが阻止できる状態になっていた。

そして、再度、衆院へ。
民主党保守系が造反し、公明党・社民党などが賛成しても三分の二を取れない。

民主党政権になってからの外国人参政権付与法案の決戦場は参院だったので。

どれだけの民主党議員に造反させる事ができるか。
その為に水面下で動いていた民主党保守系議員たち。
彼らの行動は水面下にあるからこそ価値がある。

彼らは民主党内では少数派であり、異質な存在でもある。
しかし、党内にいるからこそ行動が出来る。
彼らは信念を持って外国人参政権を阻止している。
彼らを支えているのは反対派の世論です。

参院選まで彼らは持ちこたえる事が出来たのです。

その後の参院選での民主党敗北。
自民党が外国人参政権法案に反対するというのが前提です。
自民党内にも賛成派や容認派はいますので油断は出来ませんが、
それでも阻止できている状態にはなっています。

それにも拘らず外国人参政権付与を主張する議員の存在。
彼らにそう言わせているのは何か。
うんざりします。

いっその事、法案が提出され、否決されてしまえばスッキリしたのですが。
しかし、彼らは人參を失いたくないのです。

よく外国人票が欲しいからと言われる事があります。
それは違います。
利権と献金です。
それ以外はお花畑です。

そして、今、新たな闘いの場は自治基本条例の阻止です。
局地戦で一つずつ阻止していかなければなりません。
簡単な事ではありません。
しかし、やっておかなければならない事なのです。
外国人参政権とは異なる危険な利権も含まれています。

外国人参政権反対運動とリンクさせながら自治基本条例の阻止活動をしましょう。

公明党には外国人参政権付与法案提出の動きが見えません。
やはり通らない事を判っているのでしょう。
それと自民党との関係を悪くしたくないという事もあります。

自民党内にも賛成派や容認派はいます。
主に利権絡みや不勉強議員です。
地方議会の自民党議員も酷い状態です。

人権擁護法案・人権侵害救済法案・人権救済機関設置法案。
これらの共通項は法務省外局の人権委員会。
そこには美味しい人參がどっさりあるでしょう。
こちらはぶら下げ続けるのではなく何とかして食べたいようです。

[トップページ](#) [TOP](#)

[トップページ過去記事](#) [TOP・ARCHIVE](#)

[関連資料](#) [ピラ倉庫](#)

[画像関連](#) [画像倉庫](#) (チベット旗等)

[人権擁護法案反対](#) [人権擁護法案](#) (真・保守政策研究会宛人権擁護法案反対要請書)

[人権侵害救済法案](#) [人権侵害救済法案](#)

[外国人参政権反対](#) [外国人参政権反対要望書](#) (民主党宛外国人参政権反対要望書)

[外国人参政権反対](#) [外国人参政権反対要請書](#) (外国人参政権反対要請書)

[移民受け入れ反対](#) [移民1000万人受け入れ問題](#)

[国籍法改正問題](#) [国籍法改正問題](#)

[自治基本条例の危険性](#) [自治基本条例](#)

[留学生受け入れ利権](#) [留学生30万人計画問題](#)

[活動実戦例](#) [街に出よう](#)

このサイトはリンクフリーです。
貴サイト・ブログなどの内容に応じて任意のページへのリンクでOKです。

画像の使用や文章の転載・抜粋などもOKですが、常識の範囲でお願いします。
出典の記載に関しては、必要に応じて各々の判断にお任せします。
過去の記事や資料に関しては使用にご注意下さい。



